

令和5・6年度埼玉県生涯学習審議会における

議論の整理

～リカレント教育の推進～

令和7年7月31日

埼玉県生涯学習審議会

目次

はじめに	1
I リカレント教育推進の背景	2
1 リカレント教育とは	
2 埼玉県における現状と課題	
3 市町村におけるリカレント教育の取組状況（令和6年度）	
II リカレント教育の推進に向けた県の役割と取組の方向性	8
1 生涯学習活動への参加促進のため、どのような手立てがあるか	
2 「学んだことを生かす」ために、どのような手立てがあるか	
3 県が取り組む内容についての提案	
III 埼玉県生涯学習審議会の意見の参考となる県内の取組	10
1 生涯学習審議会の意見の参考となる県内市町村の取組	
2 生涯学習審議会の意見の参考となる県の取組	
おわりに	14
<資料>	
調査結果（県内市町村におけるリカレント教育の取組状況）	15
令和5・6年度 埼玉県生涯学習審議会 検討経過	17
令和5・6年度 埼玉県生涯学習審議会 委員名簿	18

はじめに

近年、人生100年時代の到来、技術革新の加速、雇用の流動化など、社会構造が大きく変化している。

人生100年時代や変化の激しい社会においては、これまでに培ってきた経験やスキルを生かすだけでなく、生涯を通じて新たな知識・技能を学び、身に着けることが、充実した人生を送る上で重要となっている。このような時代の中で、個人のキャリア形成や自己実現の重要性が高まり、リカレント教育への注目が集まっている。

「第12期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」では、社会人のリカレント教育について重点的に議論され、生涯学び続ける社会の実現及びすべての人のウェルビーイングを目指したりカレント教育として取りまとめられた。

一方で、県政サポーターアンケート(令和6年12月実施)から埼玉県の実況を捉えると、「仕事が忙しくて時間がない」「きっかけがつかめない」といった理由により、1年間に生涯学習活動を行わなかった県民が26.6%いることがわかっている。

そこで今期の審議会では、「リカレント教育の推進」をテーマに設定した。埼玉県の実況と課題を踏まえ「生涯学習活動への参加促進のため、どのような手立てがあるか」や『学んだことを生かす』ために、どのような手立てがあるか」について議論を進めてきた。

この「議論の整理」は、令和5・6年度埼玉県生涯学習審議会の審議内容を整理し、取りまとめたものである。今期の議論を踏まえ、リカレント教育に向けた県内市町村の取組事例も掲載している。

「人生100年時代のリカレント教育」において、県教育委員会として取り組めることが少しでも明確になっていくことを期待している。

I リカレント教育推進の背景

1 リカレント教育とは

「第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」では、キャリアチェンジを伴わずに現在の職務を遂行する上で求められる能力・スキルを追加的に身に付けることや、現在の職務の延長線上では身に付けることが困難な時代のニーズに即した能力・スキルを身に付けることの双方を含むとともに、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しも含む広義の意味で使用されていた。

本審議会においてもリカレント教育を広義の意味で捉え、次のとおり定義する。

職業人を中心とした社会人に対して学校教育の修了後、一旦社会に出た後に行われる教育で、再就職や職業能力の向上を目的に学ぶ場合に限らず、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校以外の場で学ぶ場合の教育を含む。

2 埼玉県における現状と課題

(1) 第4期埼玉県教育振興基本計画から

- 第4期埼玉県教育振興基本計画では、施策24「生涯学び、活躍できる環境整備」における現状と課題を次のように示している。
 - ・「人生100年時代においては、これまでに培ってきた経験やスキルを生かすだけでなく、生涯を通じて新たな知識・技能を学び、身に付けることが、社会の激しい変化に対応し、充実した人生を送る上で重要になっています。」
 - ・「生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高めていくとともに、学習の成果を働くことや、個人や社会の課題解決につなげていくことができるよう、社会教育施設などにおける生涯学習の機会の充実や、学びの成果を生かすための支援が必要です。」
 - ・「これまでの取組を基に、様々な機関等と連携しつつ、社会人の学び直し（リカレント教育）をはじめとする学習機会の充実に一層取り組んでいくことが求められます。」

(2) 埼玉県生涯学習推進指針（令和5年3月改定版）から

- 埼玉県生涯学習推進指針では、リカレント教育の推進に関して、次のように示している。
 - ・「社会の変化が激しいこれからの時代においては、一人一人の学ぶ時期や進路が複雑化する人生のマルチステージモデルへと進展することが予想されます。若い頃に身に付けた知識・技能だけに頼るのではなく、リカレント教育やリスキリングといった、職業生活も含め生涯を通じて新たな知識・技能を学び、身に付けることが、

変化に適応し充実した人生を送る上で重要になります。」

- ・「県はこれまで、若者から高齢者まで多様な世代が新たな学びを始めるきっかけづくりや生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりに取り組んできました。」
- ・「今後は、これまでの取組を基に、様々な機関等と連携しつつ、社会の変化に対応した学習機会の提供に一層取り組んでいくことが求められます。」
- ・『『人生 100 年時代』と呼ばれる社会において、高齢者が生き生きとしたセカンドライフを過ごす上でも、『新たな学び』やリカレント教育等の「学び直し」による社会参加の促進が求められます。」
- ・「こうした課題を踏まえ、子供から高齢者まで、全ての県民が生涯にわたり心豊かな充実した生活を送ることができるよう、「多様な学習機会の充実」と「地域社会における人々の絆の形成」に対する支援も求められます。」

(3) 県政サポーターアンケート¹（令和6年12月実施）から

- 県民へのアンケートでは、生涯学習への取組について、次のような意見をいただいた。
 - ・「あなたは、この1年くらいの間に「生涯学習活動」を行いましたか。」と尋ねたところ、73.4%が生涯学習活動に取り組んでいた。
 - ・「あなたがこの1年くらいの間に生涯学習活動をしなかった理由は何ですか。（生涯学習をしなかったと回答した者）」と尋ねたところ、「仕事が忙しくて時間がない」が3割半ば（35.0%）で最も多く、「きっかけがつかめない」が2割強（23.2%）であった。
 - ・「あなたがこれまでの生涯学習活動で学んだ知識や技能、経験等を生かしていないのはなぜですか。」と尋ねたところ「どのように生かしたらよいかわからない」が4割強（40.3%）で最も多く、次いで「実際に生かせる施設や機会がない」が3割半ば強（36.1%）であった。

こうした現状やアンケートの意見から分かるように、県民の生涯学習への意欲は高いものの、学習機会へのアクセスや活用の面で課題があることが明らかになっている。

そのため、埼玉県では、生涯学習に関する情報を集約した Web サイトである「生涯学習ステーション」により、県民が生涯学習情報にアクセスしやすい環境を整備し、リカレント教育の推進に努めている。

¹ インターネットを活用して県政の課題について意見を聴きくためのサポーター登録制度

【今回の調査回答者の年齢構成】

16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
9 名 0.4%	84 名 3.5%	246 名 10.3%	424 名 17.8%	669 名 28.1%	483 名 20.3%	467 名 19.6%

【今回の調査回答者の男女比】

男性	女性	回答なし
1258 名 54.0%	1031 名 44.3%	39 名 1.7%

3 県内市町村におけるリカレント教育の取組状況（令和6年度）

県内市町村において、学び直しの機会がどのような形でどの程度提供されているか把握するため、調査を実施した。

・調査対象	県内市町村
・調査期間	令和7年2月10日～2月28日
・備考	令和7年3月実施予定の事業を含むため、数値は見込み。

(1) 調査内容

➤ 調査の項目とリカレント教育の分類は以下のとおり。

- ア 主催者
- イ 事業等の名称
- ウ 事業等の内容
- エ 対象者
- オ 開催回数
- カ 会場
- キ 延べ参加者数
- ク 分類（リカレント教育について次のとおり A～E に分類した。）

A 起業や就労 <ul style="list-style-type: none">・ 起業や就労等を目的とした講座、事業等 （例）創業支援セミナー、就業・就職支援セミナー、就職セミナー、ビジネスセミナー、ビジネスマナー講座、経営力向上セミナー
B スキルアップ <ul style="list-style-type: none">・ これまでの知識や技能をさらに深めるスキルアップのための講座、事業等 （例）プレゼンテーション研修、ビジネス英語講座、プログラミング講座、パパママ講座、地域防災講座、パソコン教室、スマホ講座、技能講習
C 社会貢献・ボランティア <ul style="list-style-type: none">・ 社会貢献や地域での活動等のために知識、技能等を身に付ける講座、事業等 （例）ボランティア養成講座、〇〇講師養成講座、認知症サポーター養成講座、人材バンク、日本語教室、サポーター養成講座、防災ボランティア講座
D リスキリング・アップデート <ul style="list-style-type: none">・ 知識や技術のアップデートを目的とした、新しい分野やより高度な内容を学ぶ講座、事業等（A～Cに該当するものを除く） （例）初めての〇〇講座、市民大学、大学公開講座、こころの健康講座、SDGs 講座、相続講座、パソコン点字教室、終活講座、新たな人権講座
E その他 <ul style="list-style-type: none">・ 上記の何れにも該当しないが学び直しと考えられる、あるいは判断が難しい講座、事業等 （例）市民講座、文化財巡り、歴史講座、高齢者教育など

(2)－1 調査結果

- 県内の市町村で実施されているリカレント教育について、A～E の分類ごとの事業数及び割合は、次のとおりであった。

	A 起業や就労	B スキルアップ	C 社会貢献・ ボランティア	D リスキリング・ アップデート	E その他	合計
事業数	76	291	197	356	809	1,729
割合	4.4%	16.8%	11.4%	20.6%	46.8%	100%

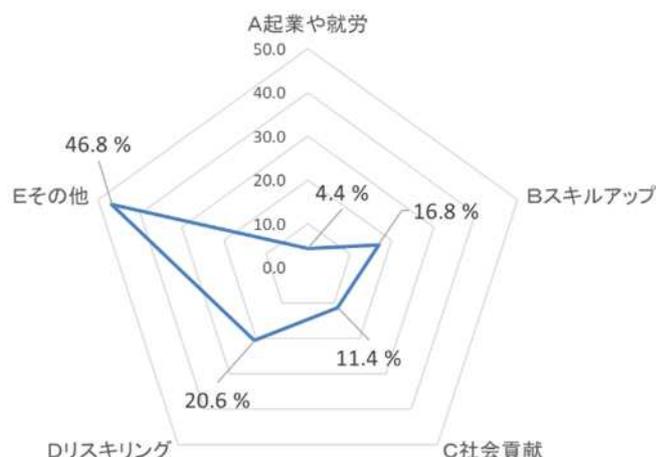


図1 県内市町村のリカレント教育に係る分類別事業割合

(2)－2 調査結果の考察

- 調査結果から、市町村で行われているリカレント教育については、次のような状況や課題があるものと推察される。
- ・「その他」カテゴリーの割合が最も高い：46.8%と、他のカテゴリーを大きく上回る割合となっている。これは、市町村が様々な形式の学び直し機会を提供していることを示しており、多様なニーズに対応していると考えられる。一方で、効果的な学び直しプログラムの提供につながっているのかの確認が求められる。
 - ・「リスキリング・アップデート」カテゴリーの割合が高い：20.6%と、近年注目されているリスキリングやスキルアップに対するニーズの高まりが伺える。社会の変化に対応し、新たな知識や技術を習得しようとする動きが活発化していると考えられる。
 - ・「スキルアップ」カテゴリーも高い割合：16.8%と、既存のスキルを深め、より専門性を高めようとする意欲も高いといえる。個人の能力開発やキャリアアップへの意識の高まりを反映していると考えられる。
 - ・「起業や就労」カテゴリーの割合が低い：4.4%と、他のカテゴリーに比べて著しく低い割合となっている。この分野での学び直しのニーズが低いために実施していないのか、ニーズを的確に把握できていないのか確認が求められる。

- ・「社会貢献・ボランティア」カテゴリーの割合が低い：11.4%と、社会貢献や地域活動への関心が低い可能性も考えられる。地域課題解決のための学び直しプログラムの充実や、参加しやすい環境づくりが求められる。

以上の調査結果及び考察からは、講座の質を担保することや、講座の偏りといった課題がみられる。これらの課題の解決に向けて、県や市町村は効果的な学び直しプログラムの開発・提供や、起業・就労支援の強化、社会貢献ボランティア活動の参加促進に取り組む必要があるといえる。

(4) -1 主な事業

- 県内市町村が取り組んでいるリカレント教育に関する事業の中で、課題解決の手がかりとなりそうな講座について A～E の分類ごとに示した。

A 起業や就労

講座名	内容	対象者
創業セミナー ～起業家の知恵と経験を学ぶトークセッション～	「起業」をするために必要な知識の習得をはじめ、先輩起業家とのトークセッションを通じて、創業前、創業直後の様々な課題や乗り越えるためのポイントを学ぶ。	創業に関心のある方、創業を考えている方、創業されて間もない方
就職支援セミナー	求職者のスキルアップを図ることにより、企業が求める人材として有利な就職活動が行えるよう、就労に関する実践的なセミナー	求職者

B スキルアップ

講座名	内容	対象者
中学英語で学ぶ大人の英会話教室	これから英会話を基礎から学びたい成人を対象に本講座を開催。	市内在住・在勤の18歳以上
はじめよう！Zoom～ゼロからはじめるZoom体験～	自分のスマートフォンやタブレット、パソコンを使って、Zoomでつながるオンライン体験を行う。	一般

C 社会貢献・ボランティア

講座名	内容	対象者
点訳ボランティア養成講座	点字の基礎、読み書きを学び、練習し、点訳ボランティアを養成する	点字・点訳に関心のある18歳以上
市民ボランティア学芸員養成講座	市民ボランティア学芸員として活動するために市内文化財等について学ぶ講座	中学生以上

D リスキリング・アップデート

講座名	内容	対象者
3回で分かる 中小企業の生成 AI 活用ロードマップセミナー	生成 AI の活用事例、生成 AI 展開のロードマップ・流れ・セキュリティ、ChatGPT の業務活用方法	生成 AI の業務での活用方法を知りたい方・AI トレンドが知りたい方
はじめての手話講座	初心者を対象に基本的な手話を体験・学習する。	一般

E その他

講座名	内容	対象者
公民館で！ベースカラー講座 ～仕事・地域デビューに！・面接で第一印象を UP！自分に似合う色を見つけよう～	仕事・面接で第一印象を UP する自分に合ったベースカラーを学ぶ	16 歳以上の市内在住・在勤の方
家事を「家族事」に～見える化シートで家事・育児シェア～	「家事見える化シート」を使って、理想の家事/育児スタイルについて話し合う	テーマに関心のある夫婦

(3)–2 主な事業の考察

- 市町村では、地域住民の多様な学び直しニーズに対応するため、様々な事業に取り組んでいる。具体的には、以下の様な特徴が見られる。
- 多様なニーズへの対応：市町村間で内容の偏りはあるものの、全体としてみると起業・就労、スキルアップ、社会貢献・ボランティア、リスキリング・アップデートなど、幅広い分野の講座を提供している。
- 対象者の焦点化：講座の対象者について、「一般」として多くの方に参加を促すものと、「テーマに関心のある夫婦」や「創業を考えている方」のように具体的に示すものがあり、内容の専門性に応じた工夫がされている。
- 時代の変化への対応：生成 AI 活用セミナーなど、最新技術を取り入れた講座も開講されており、社会の変化に対応しようとする姿勢が見られる。

今回の調査では、市町村が実施しているリカレント教育について、多様な世代やニーズに応じた事業や、社会の変化に対応した事業が展開されていることが明らかとなった。こうした学び直しの取組を広く周知していくことは県としての責務であるといえる。

一方で、起業や就労を目的とした学び直しの事業が少ないなど、分類の偏りも見られる。市町村においては、まだ実施されていない分野の事業を実施することで、新たなニーズの掘り起こしにつながる可能性があるといえる。

Ⅱ リカレント教育の推進に向けた県の役割と取組の方向性

本審議会では、主に「生涯学習活動への参加促進のための手立て」と『「学んだことを生かす」ための手立て』について協議した。以下は委員の意見である。

1 生涯学習活動への参加促進のため、どのような手立てがあるか。

- 「忙しくても、魅力ある活動であれば参加する機会となるのではないか。例えば、マルシェに参加した際に、ボランティアに誘われたというようなきっかけ作りが大切ではないか。
- 短い時間でも見られるオンライン講座の作成、周知は効果があるのではないか。
- 公民館のみならず自治会館などに講師を派遣すると参加しやすいのではないか。
- 県ホームページ「生涯学習ステーション」には非常に多くの情報が掲載されているので、サイトの工夫や充実も手立ての一つだろう。
- 生涯学習ステーションの益々の周知も必要だろう。
- 仕事が忙しくて時間がないと一言で片づけるのではなく、学びたいことがないということも含め、現役世代のニーズとマッチングするような工夫をお願いしたい。

2 「学んだことを生かす」ために、どのような手立てがあるか。

- 学んだことの結果が姿として見えると学ぶ意欲につながるのではないか。（これを学ぶことで、◇◇の職業・●●のボランティアにつながる等）
- 学んだ先に何があるかという出口が見えると新たな取組につながる可能性がある。
- 生涯学習活動により、実生活や仕事の成功につながったという事例を紹介するというのはいかがか。
- 「学んだ先の姿」を示す手段としてキャッチコピーのある講座名は有効だと考える。「歴史講座」や「体操講座」という講座名で募集すると参加者数は少ない。
- キャッチコピーとは、短文で人目を惹く宣伝文句というイメージである。
- 最近のベストセラー本は題名が長くなっているという新聞記事があった。そういう視点から考えると、題名を少し長くして興味を引くという方も考えられる。
- 「生かす」ということを限定して考えるのはもったいない。「生かす」とは、自分で教えたりボランティアしたりと社会活動的なところにもってこるだけでなく、「料理が上手になりたい」という思いをもって学び、家庭生活や日常生活で生かすことでも十分であるという理解も大切である。
- 生かす方法がないという方もいるがそうではないのではないか。学びたいという方には、こうなりたいという姿はあるはずで、それによって自分の生活を豊かにしていると考えられる。

3 県及び市町村が取り組む内容についての提案

○生涯学習審議会の意見を踏まえた内容を会議等の場で周知する。

県では、各教育事務所を通じて市町村の生涯学習主管課の担当者会議を行い、県の事業説明や情報提供を行っている。本審議会で実施した調査結果から見えてきた「課題」や、「課題解決の手がかりとなる取組」について、こうした会議で具体的に情報提供を行う必要がある。例えば、優良な取組をしている公民館の取組事例の発表の場を設定するといったことが考えられる。

各市町村では、本審議会での調査結果等を踏まえ、リカレント教育に関する事業の現状をとらえ直し、地域住民のニーズを把握・分析する必要がある。さらに、他市町村の事例を参考にして、新たなニーズを掘り起こす取組も期待される。

○生涯学習・社会教育事業に、「学んだ先の姿」を示すキャッチコピーのような副題や説明文を加える。

県では、各市町村への情報提供とともに、公民館連絡協議会のネットワークや公民館職員研修会を通して、講座立案の際に学んだ先の姿をイメージできるような手立てを考えられるよう助言していく。

市町村においては、事業の立案・広報の際に、学んだ先の姿がイメージできるような工夫がなされているかという視点で検討し、より広く魅力が伝わる事業をつくっていくことが期待される。

○生涯学習活動を通して実生活や仕事でうまくいっている例をホームページ等に掲載する。

県では、県政サポーターアンケートで生涯学習に取り組んだ方の学びの成果について、学習者の声としてホームページに掲載し、学び直しのよさを広く周知していく。ただし、学びを「生かす」ことが実生活や仕事に限定されるものという誤解を生まないよう配慮する。

市町村では、生涯学習に関する事業について、生涯学習活動が実際に生活や仕事、その人の生き方の豊かさにつながっているかという視点をもって評価し、改善につなげることが期待される。

○社会教育人材の活躍の場を広げていく。

県では、生涯学習ステーションで指導者情報を提供し有効に活用いただいている。県・市町村ともに、社会教育士や社会教育委員、あるいはそうした肩書や立場がなくとも学び直しを推進する力のある人材が活躍できるような環境を整えていく必要がある。

→人生100年時代のリカレント教育の推進につなげていく。

Ⅲ 埼玉県生涯学習審議会の意見の参考となる県内の取組

1 生涯学習審議会の意見の参考となる県内市町村の取組

- 県内市町村に対する調査の中で、本審議会でリカレント教育の推進に有効な手立てとして議論にあがった「学んだ先の姿を示すキャッチコピー」を生かした事業がすでに実施されており、今後の県及び市町村の取組の参考となるものである。

(1) D リスキリング・アップデート

- 川口市立西公民館では、現代社会における情報活用能力向上を目的としつつ、中国古典を教材として扱う講座「現代社会における「情報」の読み方、活かし方」を開催している。

施設名	川口市立西公民館（教育委員会）
講座名	現代社会における「情報」の読み方、活かし方
キャッチコピー	中国古典を参考にしつつ、現在、未来への対応の術を学ぶ
講師	けんかつ市民講師、漢文音読の会代表、生涯学習ステーション登録指導者
講座概要	情勢が日々変化する現代社会を生きるうえで「情報」の役割とはなにか？ 生活、将来への活かし方とは？ 身近な中国古典「正史 三国志」を題材として、その出来事、人物の行動や考え方を参考にしつつ、現在、未来への対応の術を考えながら学ぶ。
回数	4回
対象者	市内在住・在勤・在学者
延べ参加者数	85人
キャッチコピーの意図・所感	「情報」に対する重要性への理解が深まり、三国志を学び直す機会になったと考えられる。
受講アンケート	講座申し込みの決め手になった
	学習意欲が高まった
	身につく知識や技能が明確になった
	学習の目的が明確になった

(2) E その他

- 家事の負担軽減と家族間のコミュニケーション改善を目的とした講座「家事を『家族事』に～見える化シートで家事・育児シェア～」では、「家事見える化シート」を用いて、理想の家事・育児スタイルについて話し合い、家族間の役割分担や負担の可視化を促している。

施設名	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」（市長公室）
講座名	家事を「家族事」に
キャッチコピー	見える化シートで家事・育児シェア
講師	民間プロジェクト代表

講座概要	「家事見える化シート」を使って、理想の家事/育児スタイルについて話し合う。
回数	1回
対象者	同居人と家事シェアしたい方
延べ参加者数	8人
キャッチコピーの意図・所感	「家事を『家族事』に」だけだと夫婦のみが対象の講座と捉えられてしまう。また、講座で使用する「見える化シート」について触れたかった。シェアに関心のある方の受講もあり、キャッチコピーが参加促進につながったと感じている。
受講アンケート	「シェア」に関心があったので受講した。友人とルームシェアしていたときに知りたい内容だった。 見える化シートで負担がわかった。家事をもう少し割り振りしたい。

2 生涯学習審議会の意見の参考となる県の取組

➤ 県として実施しているリカレント教育に関する取組について以下に示す。

(1) 「生涯学習ステーション²」の充実

ア イベント情報のカテゴリーに「オンライン・オンデマンド」を追加

➤ 月ごとのイベント情報に「オンライン・オンデマンド」の分類を設けることで、該当イベントを検索しやすくし、短時間や在宅でできる学び直しの場に出会える機会を増やしている。

3月のイベント情報

ジャンルから探す

体験	展示	講座 講演
映画	音楽	読書 おはなし会
演劇・ 劇楽・ エンタメ	オンライン・ オンデマンド	障害者の 生涯学習

オンライン・オンデマンド

イベント名	イベント内容	開催日 又は 開催期間	開催場所
令和6年度 こども・若者自殺予防講演会「生きづらさ」を抱えたこども・若者への理解と対応	こども若者の生きづらさや心のケアについて学んでみませんか。	令和7年2月21日～ 令和7年3月23日	YouTubeによる動画配信 (埼玉県精神保健福祉センター)
お家で学ぼう！オンライン公民館	YouTubeで川口市の公民館講座を配信。動画で楽しく学びましょう♪	随時	オンライン
デジタル「またe公民館」	北公民館の事業を楽しくデジタルで学びましょう。	随時	三郷市立北公民館
にじいろ県民講座（埼玉県性的マ イノリティ県民講座）	動画で性の多様性に関する理解を深めることができます	随時	YouTubeにおける動画配信

² 「生涯学習ステーション」は、県内の指導者やイベント、講座などの生涯学習に関する情報を発信し、県民の皆さまの生涯学習活動を支援するサイトです。

【<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/station/index.html>】

イ 学習者の声の掲載

- 「学習者の声」として、生涯学習を行った方が学習活動で得た知識や技能、経験等をどのように生かしているかが伝わるようにすることで、学び直しの意欲が高まるようにしている。

学習者の声

生涯学習活動を行った方が、学習活動で得た知識や技能、経験等をどのように生かしているかをご紹介します。

○仕事や他者への指導に生かしている例

- ・コーチングや心理学を学び、カウンセリングや相談の仕事に活かした。
- ・パソコン関係のセミナーに参加し、今は、その知識を生かし、周囲の知人のパソコンの指導をしている。
- ・点字講習会で学んだ後、視覚障害者に向けての教科書作りや、地域の小学校へ出向き、点字の指導に参加した。
- ・山や林の自然の中で活動したことを野外活動や室内イベントなどの時に放課後児童クラブ支援員の仕事に生かしている。
- ・勉強した英語、稽古した武道を生かして、地域で指導にあたった。
- ・傾聴の講義研修を受けた。日々の地域活動や仕事の電話対応にも活用できた。
- ・クラウドの資格取得を通じて仕事の幅が広がっている。

○地域活動やボランティアに生かしている例

- ・フラダンスを習って地域のイベント参加や介護施設のボランティア活動に参加している。
- ・語学学習は外国人観光客のボランティアガイドに役立っている。
- ・英語を学びスポーツボランティアに生かしている。
- ・介護の研修を受講し、ボランティア活動に参加した。
- ・日本語教授法の習得により、地域のボランティア日本語教室で活動できている。
- ・読み聞かせ講座を受講して、読み聞かせの図書館ボランティアに繋がった。

○自身の生活や心身の充実に生かしている例

- ・社交ダンスやハーモニカ練習を継続することが健康の維持とシニアクラブの仲間作りに役立っている。
- ・書道を習ったことで字がうまくなり、友人も増えた。
- ・農業講座により家庭菜園に活かした。
- ・ダンスを通して仲間が増え健康増進にも繋がっている。
- ・様々な研修やセミナーに参加することにより、視野が考え方が広がり、人間関係構築にも良い影響がでる。
- ・史跡巡りや美術館・博物館巡りをし、知識が増え心が豊かになった。
- ・ウォーキング、登山による健康増進、心身のリフレッシュになっている。音楽鑑賞・絵画鑑賞でも心と頭のリフレッシュが出来ている。
- ・運動力学、運動生理学、栄養学等を学んだことで、趣味のランニング競技のレベルが向上し、自身の充実感が増えるとともに同じ価値を共有できる仲間が増えた。

- ウ 生涯学習情報に「学び直し」の 카테고리を追加
 - 生涯学習ステーションに「学び直し」として、他課や大学で実施している事業へのリンクを掲載し、多様な学びの場につながり易くしている。

社会人の学び直し



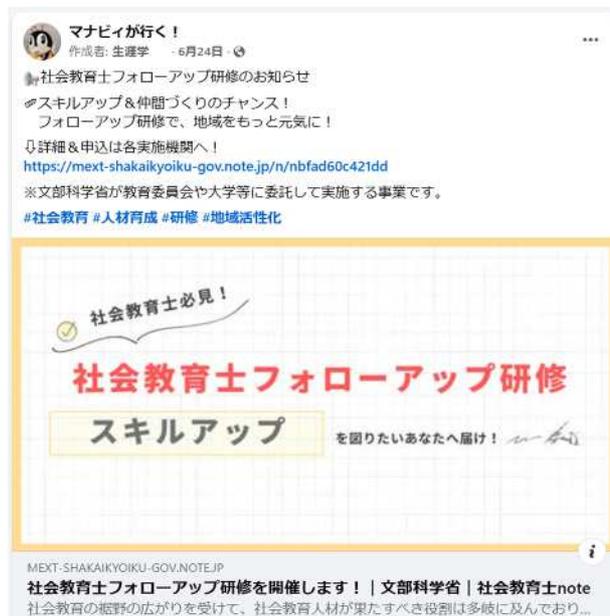
- [大学の開放授業講座（リカレント教育：55歳以上のかた向け）](#)（県高齢者福祉課）
- [在職者向けの技能講習（スキルアップ講習）](#)（県産業人材育成課）
- [県内中小企業のためのデジタル人材育成事業](#)（県産業人材育成課）
- [県民活動総合センター](#)（外部サイト）
- [埼玉未来大学](#)（外部サイト）
- [文部科学省 マナパスホームページ](#)（外部サイト）（別ウィンドウで開きます）

高等学校中途退学者等の学び直し

- [公立高等学校転編入学情報](#)（県教育局県立学校人事課）
- [高等学校卒業程度認定試験](#)（県教育局県立学校人事課）
- [定時制通信制高校](#)（県教育局高校教育指導課）
- [中途退学防止に関すること](#)（県教育局生徒指導課）

エ Facebook「マナビイが行く！」の活用

- SNS を活用し、生涯学習に関する活動を広く発信している。



【マナビイが行く！ <https://www.facebook.com/manabee.go.go/>】

おわりに

令和5・6年度埼玉県生涯学習審議会では、「リカレント教育の推進」について議論を進めてきた。令和6年度の本審議会では、リカレント教育を広義に捉え、「生涯学習活動への参加促進のための手立て」と『『学んだことを生かす』ための手立て』について審議を深めてきた。

本審議会で話題となったのは、「学んだことの結果が姿として見えると学ぶ意欲につながるのではないか」という点だった。これが大きなヒントとなり、具体的な取組や留意点についての検討課題の合意形成がなされたと感じている。これが基となり、生涯学習・社会教育事業に「学んだ先の姿」を示すキャッチコピーのような副題や説明文を加えるという取組の重要性が見出された。

本審議会で議論された高齢者の学び直しは、特にこの課題を抱えている。県内には、活発な活動を続ける市民大学やサークルの参加者、自主グループのメンバー、地域活動のリーダー等がいる。彼らの学びの成果が、次の集団を招き入れるような循環となることで、学び直しの機会がより広範に広がるのではないかと意見があった。

また、県ホームページ「生涯学習ステーション」の工夫・充実も論点の一つとなった。忙しくてもオンライン講座であれば学習機会となるのではないかと意見から、イベント情報のジャンルに「オンライン・オンデマンド」を追加し、講座の周知と利用拡大につながることを期待したい。

生涯学習活動で得た知識や技能、経験を仕事に生かしている事例等を「学習者の声」として掲載したことで、学び直しへの参加促進につながることを期待される。

今期の審議会では、県内市町村の公民館等社会教育施設における取組を中心に審議を行い、更なるリカレント教育の方向性を見出すことができたと考えられる。一方で、県の関連部局においてもリカレント教育の機会が提供されている。関連部局、企業、高等教育機関との連携を視野に入れることで、一層充実したリカレント教育を推進することができるのではないだろうか。

今後も、学ぶ意欲を持つ社会人が必要な情報を効率的に入手できるよう、県及び市町村によるリカレント教育の推進及び学びの成果の活用の支援を期待している。

埼玉県生涯学習審議会 会長 山本 和人

<参考>

調査結果（県内市町村におけるリカレント教育の取組状況）

		主催者			事業等の名称			数値			分類					
		教育委員会	以外	共催				事業数	回数	延べ参加者数	A	B	C	D	E	
1	さいたま市	136	58	16	気軽に誰でも創業相談ウィーク～起業と子育ての両立を考えてみる～	課題解決型デジタル人材育成プログラム～データサイエンスによる経営課題解決ハンズオン～	防災講座～この知育に住んで、自然災害から見えを守るために～	210	1,193	33,591	23	25	17	25	120	
2	南部 教育 事務 所 管 内	川口市	4	1				5	749	12,674			2	3		
3		鴻巣市	93		2			95	202	4,487		6		44	45	
4		上尾市														
5		草加市	11		4			15	136	3,249		7	3	4	1	
6		蕨市	5		1	公民館で！ベースカラー講座～仕事・地域デビューに！・面接で第一印象をUP！自分に似合う色を見つけよう～		6	18	278		2	1	1	2	
7		戸田市	88	100		英語でポップスを歌おう～発音・歌唱指導もあります～	防災士と学ぶ防災講座～戸田市の治水対策と避難所HUG体験～	188	742	15,671	10	11	13	23	131	
8		朝霞市	3					3	11	55					3	
9		志木市	2	4	5			11	57	1,170		1	3	5	2	
10		和光市	26	1	3			30	56	1,154	2	5	6	5	12	
11		新座市	66	24	1	春のマナー講座！お金に働いてもらう！～インデックス投資で始める資産運用～	パパ・ママ応援講座～こどもの集中力を育むおたづけ～	91	388	5,620	7	20	7	16	41	
12		桶川市														
13	北本市	2	4				6	1,551	3,549	2		2	2			
14	伊奈町	-														
15	西部 教育 事務 所 管 内	川越市	114	9	24			147	662	13,366	2	31	15	36	63	
16		所沢市	22	53	2			77	1,086	923,160	1	20	19	17	18	
17		飯能市	8	24	10			42	218	3,318		11	14	5	13	
18		東松山市														
19		狭山市	6	3	13			22	99	2,042		6	4	2	10	
20		入間市	15	20	22			57	143	4,253	4	22	13	8	10	
21		富士見市	3	22				25	116	2,209	3	3	7	11	1	
22		坂戸市		23	1			24	117	3,897		1	1	5	17	
23		鶴ヶ島市	4					4	4	55			1	1	2	
24		日高市	80		5			85	178	2,715		16	3	22	44	
25		ふじみ野市	4						233	1,260		1	2	1	1	
26		三芳町														
27		毛呂山町	8	5	2			15	42	1,185			1		14	
28		越生町														
29		滑川町	-													
30		嵐山町														
31		小川町	23	4				27	112	2,872		5		7	15	
32	川島町															
33	吉見町															
34	鳩山町	2					2	5	77					2		
35	ときがわ町															
36	東秩父村															

		主催者			事業等の名称			数値			分類				
		教育委員会	以外	共催				事業数	回数	延べ参加者数	A	B	C	D	E
37	熊谷市	5	14				19	97	2,828				10	9	
38	本庄市	18	7		楽しいパソコン講座 ～ワードを使って年賀状やカレンダーを作ります～		25	98	2,842		7	3	6	9	
39	深谷市	36	2	3			41	45	1,177		5	3	6	27	
40	美里町	1					1	7						1	
41	神川町														
42	上里町														
43	寄居町														
44	秩父市		1				1	17	576					1	
45	横瀬町														
46	皆野町														
47	長瀨町														
48	小鹿野町	2					2	11	280				1	1	
49	行田市														
50	加須市	2					2	20	862					2	
51	春日部市	20	17	11			48	438	14,582	9	9	5	5	20	
52	羽生市		11	3			14	64	2,034	3	1	7	2	1	
53	越谷市	166	68		家事を「家族事」に～見える化シートで家事・育児シェア～		234	1,777	64,442	9	43	20	46	116	
54	久喜市	17	8				25	207	4,502	1	5	7	5	7	
55	八潮市	31	2				35	241	7,058		8	1	18	8	
56	三郷市	8		2			10	29	449		2		5	3	
57	蓮田市	5	11	1			17	91	1,499		3	9	3	2	
58	幸手市	19	7	4			30	275	4,027		3	6		21	
59	吉川市	4	6	1			11	35	718		2		1	8	
60	白岡市	11					11	61	731		6	1		4	
61	宮代町	1	7				8	57	1,285		4		3	1	
62	杉戸町	2		2			4	20	370			1	2	1	
63	松伏町	-													
	合計	1,073	516	138			1,725	11,708	1,152,169	76	291	197	356	809	

令和5・6年度 埼玉県生涯学習審議会 検討経過

令和5年度

第1回生涯学習審議会

令和5年10月31日（火）

- リカレント教育の推進について
- ・埼玉県の現状の把握と解決策の検討

第2回生涯学習審議会

令和6年3月28日（木）

- リカレント教育の推進について
- ・次年度における県の取組内容（案）の検討

令和6年度

第1回生涯学習審議会

令和7年1月29日（水）

- リカレント教育の推進について
- ・「学んだ先の姿」を示すキャッチコピーの有効性・可能性の検討
- ・「生涯学習ステーション」の工夫・充実の検討

第2回生涯学習審議会

令和7年3月28日（金）

- 令和5・6年度埼玉県生涯学習審議会における議論の整理（案）について

令和5・6年度 埼玉県生涯学習審議会委員名簿

任期：令和5年8月4日～令和7年8月3日

	氏名	職名等	備考
1	阿左美 健司	埼玉県議会文教委員長	R6.7.25～ 副会長
	鈴木 正人		R5.8.4～R6.7.24 副会長
2	新井 大	埼玉県公民館連絡協議会副会長 (行田市中央公民館長)	R6.7.25～
	山田 真奈美	埼玉県公民館連絡協議会副会長 (上里町中央公民館長)	R5.8.4～R6.7.24
3	大西 麗衣子	尚美学園大学准教授	
4	加藤 美幸	埼玉県家庭教育振興協議会理事	
5	久保木 則子	「町ぐるみん白岡」副会長	
6	佐藤 昌史	蕨市立図書館長	
7	渋谷 巧	公益社団法人日本青年会議所関東地区 埼玉ブロック協議会会長	R6.7.25～
	田中 太一		R5.8.4～R6.7.24
8	新保 正俊	埼玉県都市教育長協議会副会長 (川越市教育委員会教育長)	R6.12.19～
	柿沼 光夫	埼玉県都市教育長協議会副会長 (久喜市教育委員会教育長)	R5.8.4～R6.12.18
9	谷野 裕子	埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会会長	R6.7.25～
	寺田 竹雄		R5.8.4～R6.7.24
10	朝武 紀雄	一般社団法人埼玉県子ども会連合会事務局長	R6.12.19～
	林 俊幸	一般社団法人埼玉県子ども会連合会常務理事	R5.8.4～R6.8.7
11	中島 晴美	上尾市立上平小学校長	
12	長谷川 光男	る・ばる・デ川口代表	
13	平野 正美	株式会社テレビ埼玉編成局次長	
14	廣澤 健一	一般社団法人埼玉県経営者協会専務理事	
15	前川 康恵	埼玉県地域婦人会連合会理事 (蕨市旭町婦人会会長)	
16	前原 辰信	ほりかねデマンド・ラボ会長	公募委員
17	矢作 修一	青少年育成さいたま市民会議青少年育成中島地区会事業委員	公募委員
18	山本 和人	東京家政大学名誉教授	会長
19	渡辺 美穂	独立行政法人国立女性教育会館研究国際室長 (併)主任研究員	

※五十音順